

地域医療の連携に関する アンケート調査集計結果

(市民対象)

生駒市病院事業推進委員会
医療連携専門部会

平成26年4月25日(金)

調査概要

□ 調査目的

- このアンケート調査は、平成27年6月の生駒市立病院の開院を機に、本市におけるよりよき地域医療の連携体制の新たな構築に向け、市民の皆様の実況やご意見をお伺いし、医療連携専門部会の検討の基礎資料として活用させていただくことで、今後の本市医療行政に反映させていただくことを目的に実施したものです。

調査概要

□ 調査の実施方法

■調査地域:生駒市全域

■調査対象:無作為抽出された20歳以上の市民、2,000人

■実施方法:郵送による配布と回収

(平成26年3月7日(金) 発送 平成26年3月31日(月) 返送期限)

□ 回収状況

■回収数:1,098部(回収率:54.9%)

■性別・年齢別回収状況

性別

性別	配布数	回収数	回収率
男	1,000	469	46.9
女	1,000	616	61.6

※性別未記入 13件

年齢別

年齢	配布数	回収数	回収率
20歳～29歳	268	67	25.0
30歳～39歳	355	136	38.3
40歳～49歳	364	178	48.9
50歳～59歳	294	164	55.8
60歳～64歳	212	121	57.1
65歳～69歳	156	135	86.5
70歳～74歳	127	116	91.3
75歳～79歳	104	86	82.7
80歳以上	120	90	75.0

※年齢未記入 5件

調査概要

調査項目

- 回答者の属性に関する調査 全23問(選択式を基本に、一部記述式)
 - 問1.性別 問2.年齢 問3.住所地 問4.在住年数 問5.職業 問6.仕事先・通学先
 - 問7.世帯構成(未就学児童・後期高齢者の有無) 問8.加入医療保険
- 入院時に利用した医療機関に関する調査
 - 問9.入院時利用した医療機関の所在地 問10.市外医療機関の選定理由
- 休日夜間の急病経験に関する調査
 - 問11.休日夜間の急病経験の有無 問12.休日夜間の急病時の対応
- かかりつけ医に関する調査
 - 問13.かかりつけ医の有無 問14.かかりつけ医の選定理由
 - 問15.かかりつけ医を持たない理由 問16.かかりつけ医に望む医療サービス
- 在宅医療に関する調査
 - 問17.在宅医療を希望するか否か 問18.在宅医療の実現に支障となること
 - 問19.在宅医療を希望しない理由
- 市立病院に関する調査
 - 問20.市立病院の取組みについて知っていること 問21.市立病院に望む情報提供
 - 問22.市立病院利用時の交通手段
- 市民参加に関する調査
 - 問23.地域医療を育てるために市民にできること

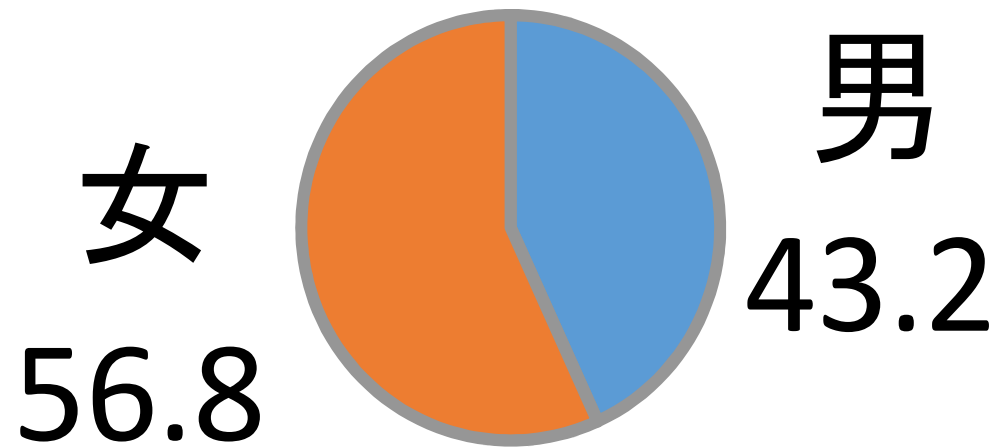
調査概要

□ 集計・表記方法

- 集計結果は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。
- 未記入、不明及び指定された選択数以上の回答は、その設問に関して全て未記入扱いとしています。
- 選択肢から1つだけ選んで回答する設問では四捨五入の誤差により、構成比の和が100.0%にならないことがあります。
- 本文や図表中の選択肢の文言は、調査票の実際の文言を短縮しているものがあります。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

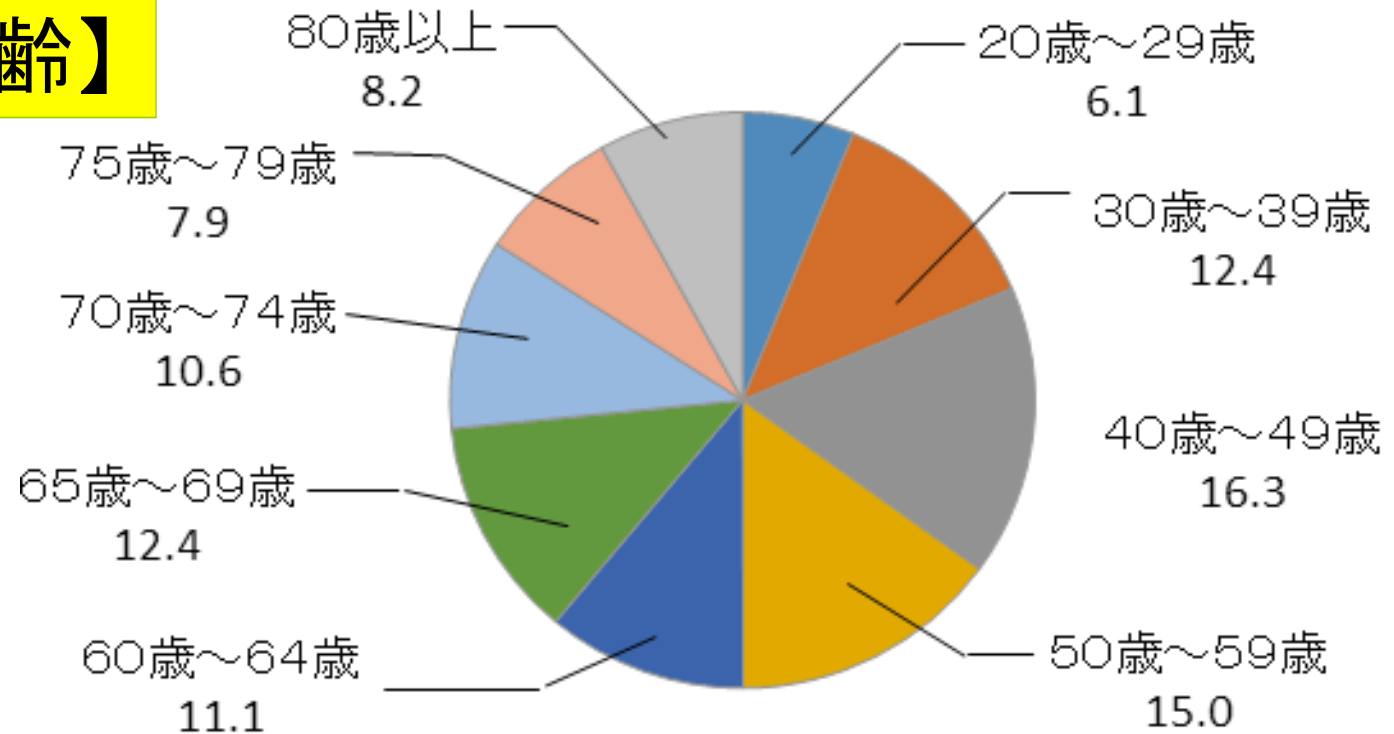
【問1 性別】



男性469名、女性616名の回答があり、回収数に対する割合は、男性43.2%、女性56.8%であった。
女性の回収数対比率が高い。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

【問2 年齢】



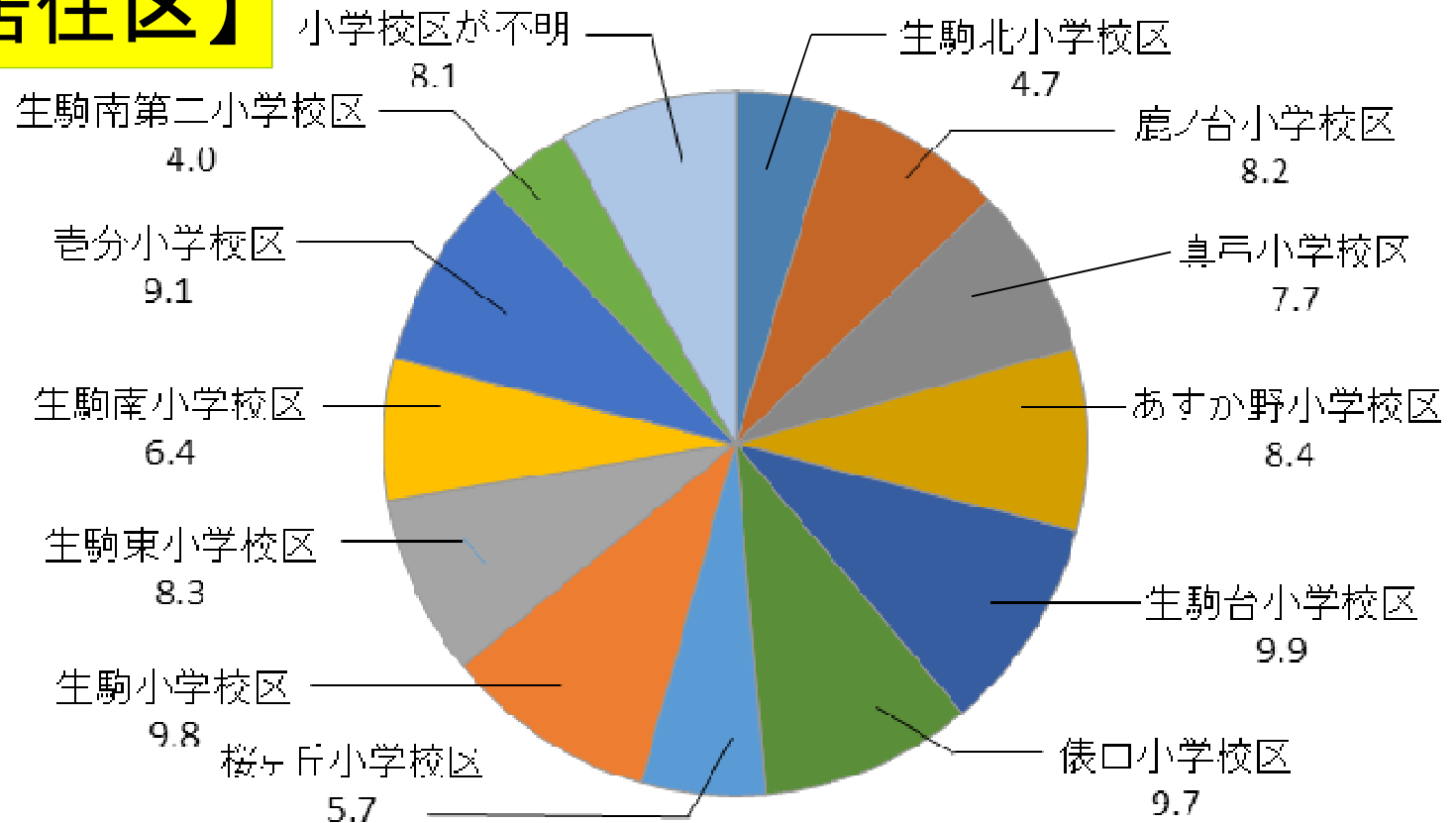
回答者の年齢階層を大きく区分すると、若年層(20～39歳)が18.5%、中年層(40～59歳)が31.3%、高齢層(60歳以上)が50.2%であった。

前記回収率(若年層32.6%、中年層52.0%、高齢層76.2%)同様、高齢者の回収数対比率が高い。

→地域医療連携や在宅医療に対する関心は、高齢層ほど高い。⑥

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

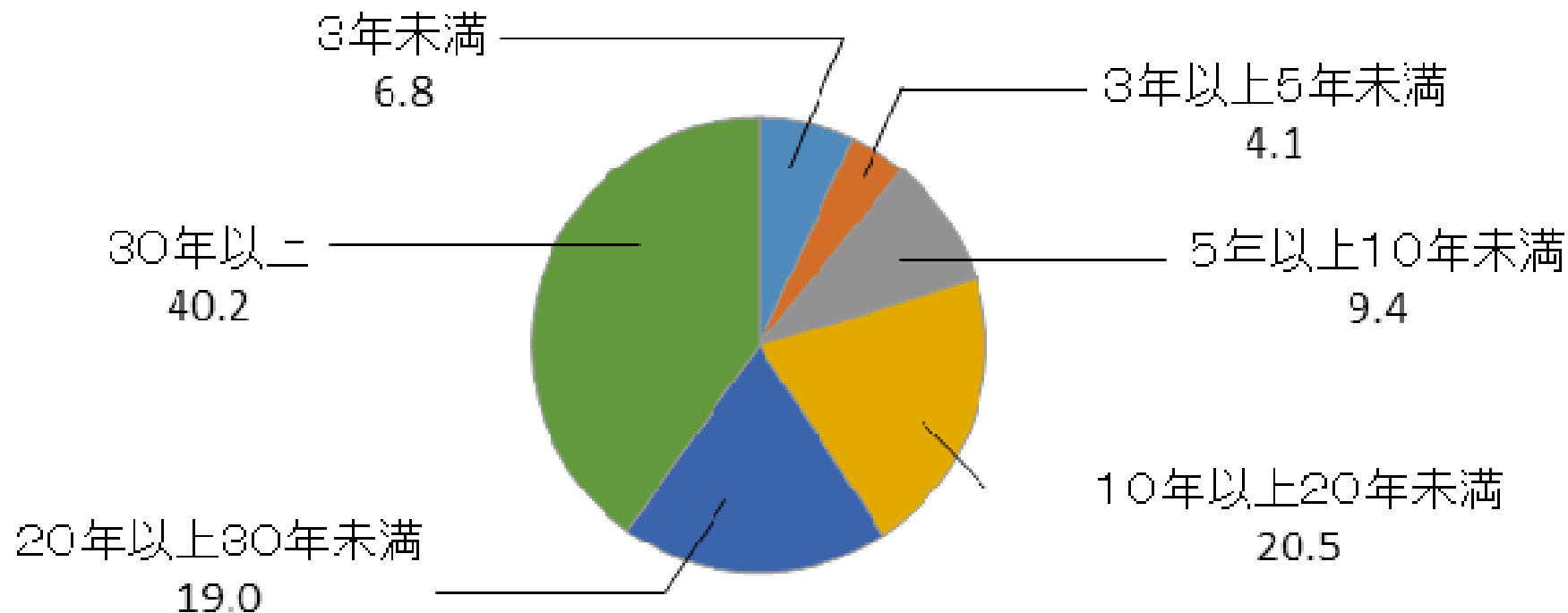
【問3 居住区】



回収数対比率を地区別にみると、中地区（生駒台小～東小）は43.4%で最も高く、北地区（北小～あすか野小）は29.0%、南地区（南小～南第二小）は19.5%だった。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

【問4 在住年数】



1位: 在住年数30年以上 40.2%

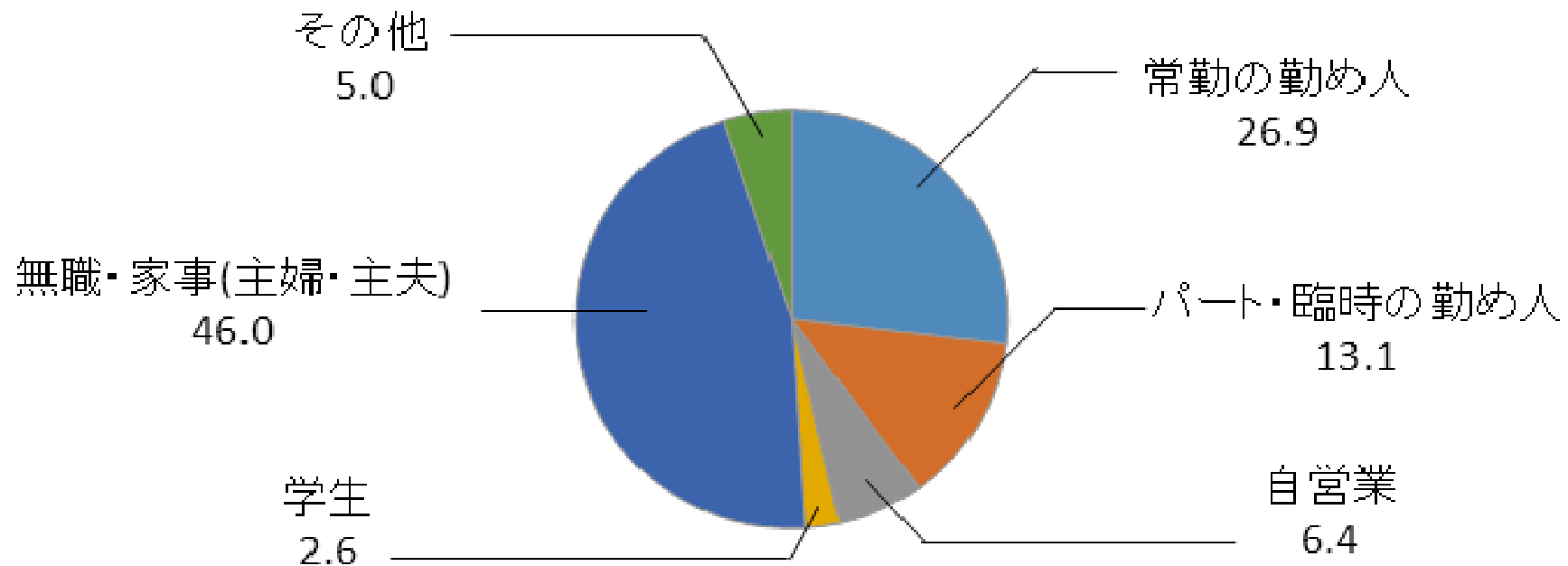
2位: 10年以上20年未満 20.5%

3位: 20年以上30年未満 19.0%

→ 回答者のほぼ8割の方が10年以上の長期にわたって本市に在住されている。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

【問5 職業】

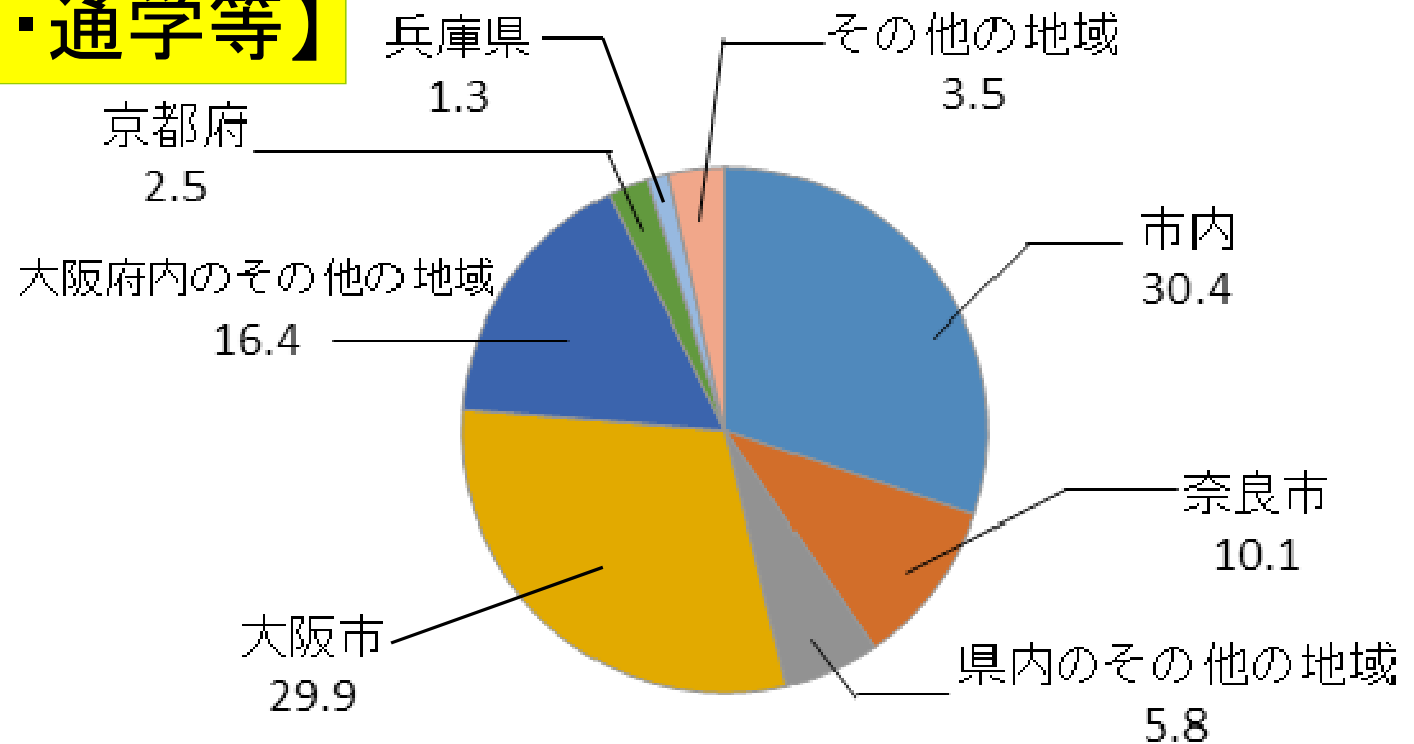


無職・家事が、46.0%で最も多く、次に、常勤の勤め人が26.9%、パート・臨時の勤め人が13.1%と上位3位であった。

問2の年齢に関する設問で、回答者の割合は60歳以上が50.2%であったことから、定年退職者や家庭の主婦・主夫を含む高齢の無職・家事の方が最も多くなることが考えられる。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

【問6 通勤・通学等】

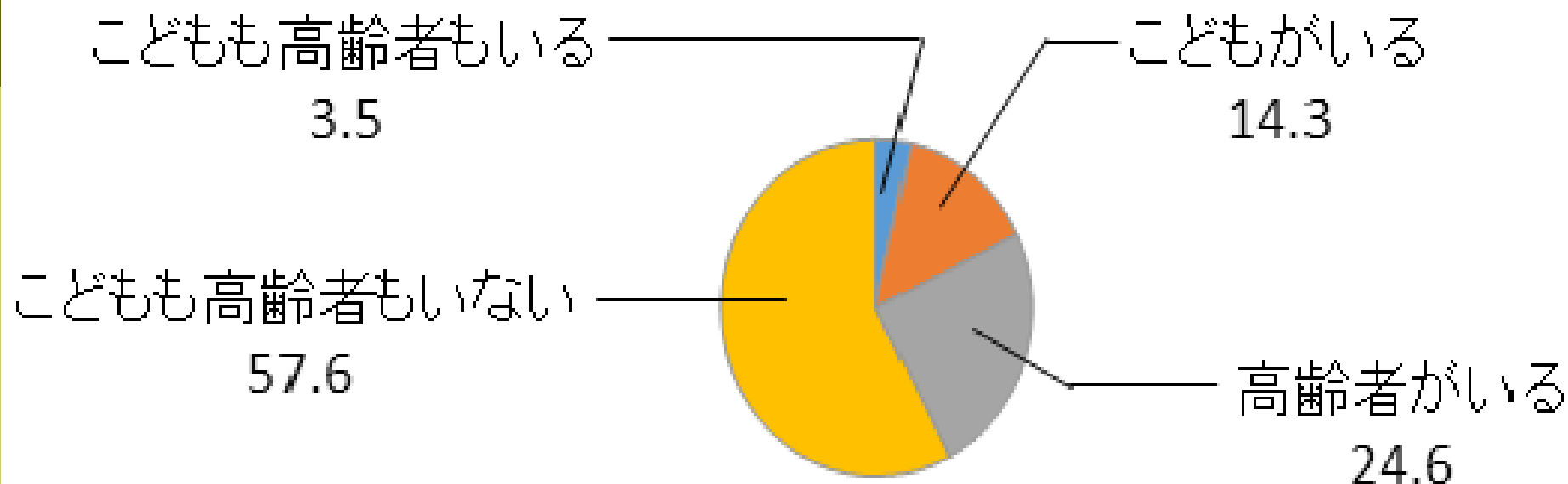


市内以外の通勤・通学先として、奈良市や県内その他の地域（15.9%）より、大阪府が46.3%（大阪市 29.9%＋大阪府内その他の地域 16.4%）と多かった。

また、不明（未記入）が非常に多く（496件/1,098件）、問5の無職・家事の回答者の割合が46.0%という結果から、このような回答となったことが考えられる。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

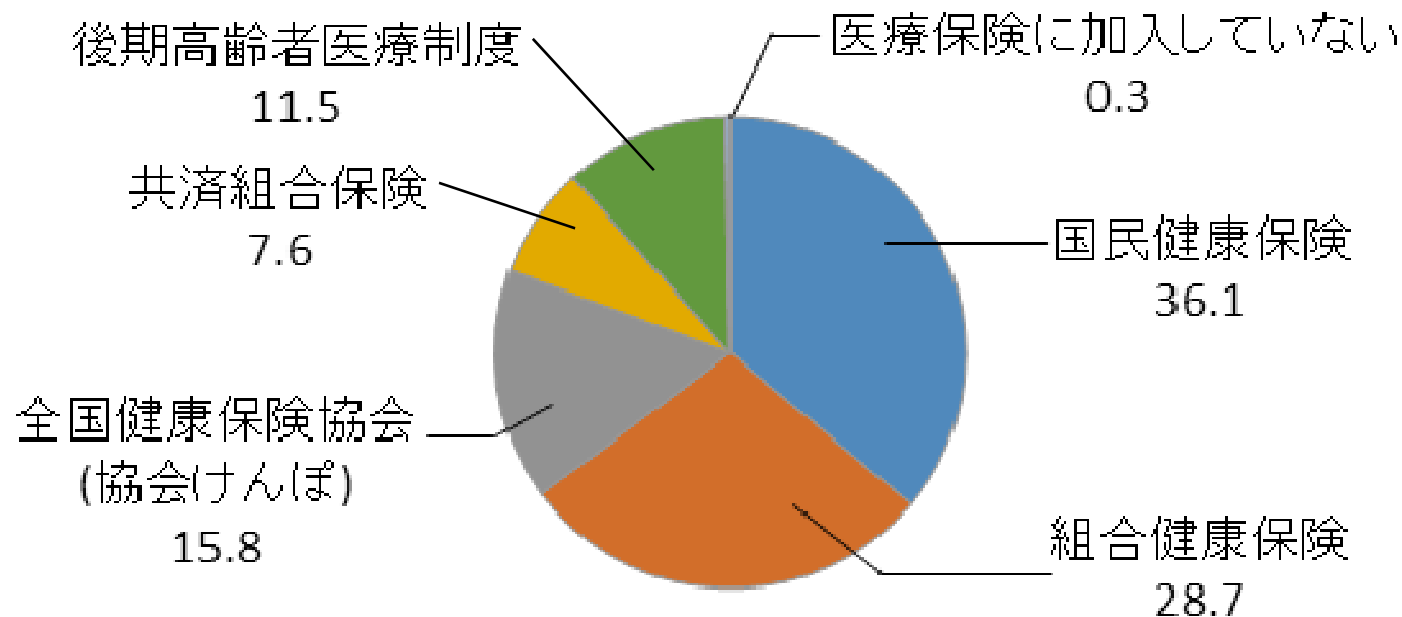
【問7 世帯構成】



子どもも高齢者もない世帯が、57.6%で最も多かった。
問2の年齢に関する設問で、回答者の割合が50～74歳が49.1%
であることから、小学校入学前の子どもも75歳以上の後期高齢者
もない世帯が最も多い結果につながったのではと考えられる。

アンケート集計結果 【回答者の属性に関する調査】

【問8 加入している医療保険】



自営業者やパート・アルバイト、退職者などの国民健康保険加入者が36.1%と最も多く、次に、ともに会社員が加入する組合健康保険が28.7%、協会けんぽが15.8%で上位3位となった。

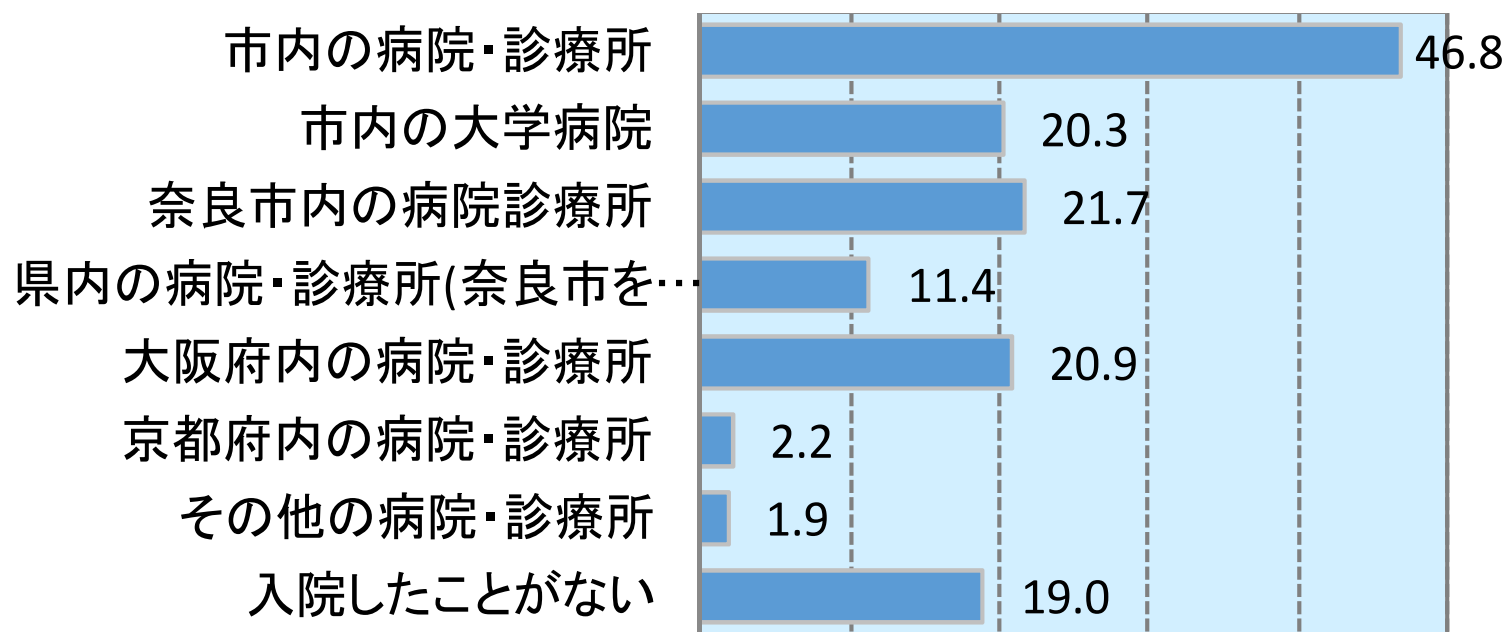
→問2の年齢に関する設問で、60～74歳の回答数が34.1%であることから、定年退職者や家庭の主婦・主夫の方の国民健康保険加入者が最も多い結果となった。

アンケート集計結果

【入院時に利用した医療機関に関する調査】

【問9 入院時に利用した医療機関の所在地】

あなたやあなたの家族が、入院が必要な場合に利用した、又は、利用している医療機関はどれですか。(複数回答)



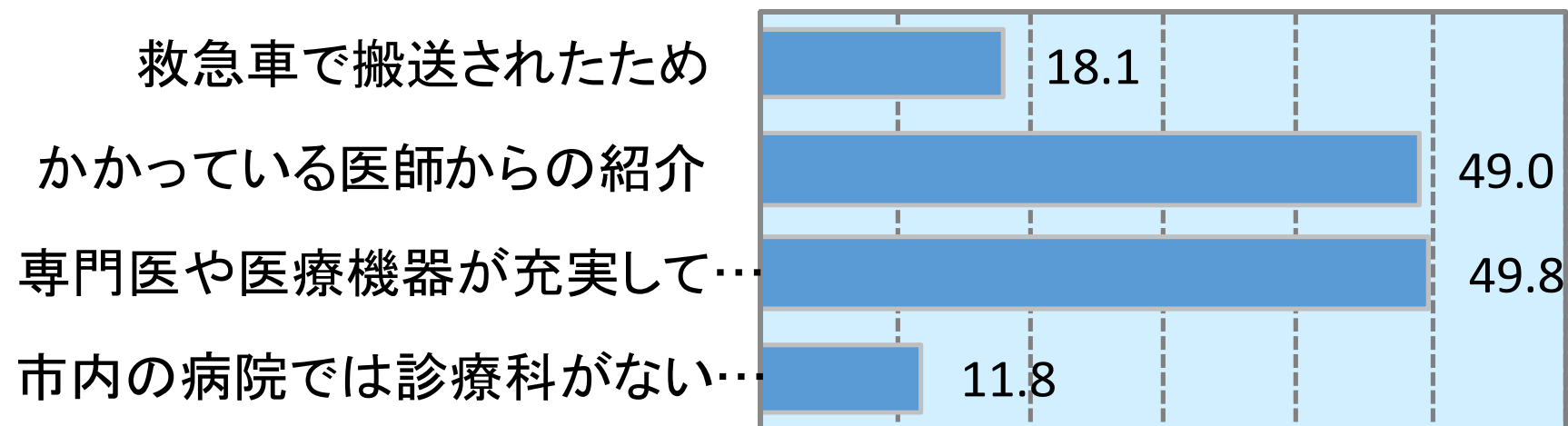
市内の病院・診療所(46.8%)が最も多く、それに市内の大学病院(20.3%)を足すと、67.1%が市内医療機関を利用していることになる。

アンケート集計結果

【入院時に利用した医療機関に関する調査】

【問10 市外医療機関の選定理由】

問9で、市内の病院以外(3、4、5、6、7)を選ばれた方にお聞きします。なぜその医療機関を選ばれましたか。(複数回答)



1位:専門医や医療機器が充実しているため(49.8%)

2位:かかっている医師からの紹介(49.0%)

「救急車で搬送されたため」(18.1%)や「市内の病院では診療科がない等対応できないため」(11.8%)は意外と少なかった。

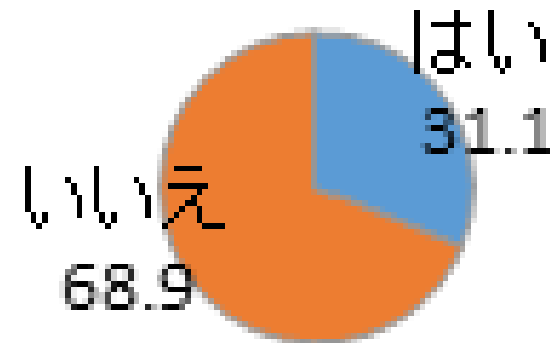
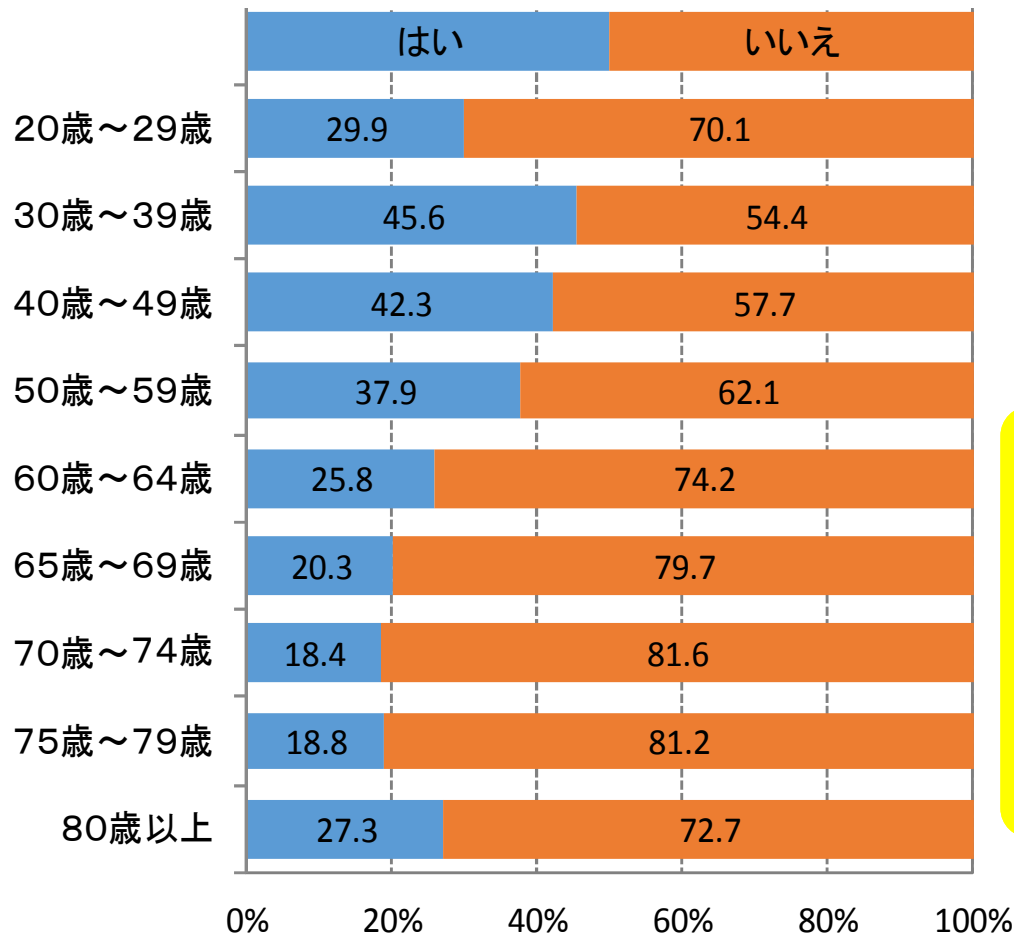
なお、医科診療所アンケートでは、問5で、よく紹介する医療機関が、「市外県内の医療機関」が73.9%と最も多かったことが、「かかっている医師からの紹介」(49.0%)と関係しているのではと推測される。

アンケート集計結果

【休日夜間の急病経験に関する調査】

【問11 休日夜間の急病経験の有無】

あなたやあなたの家族が、最近2年間に休日や夜間に急病になったことがありますか。



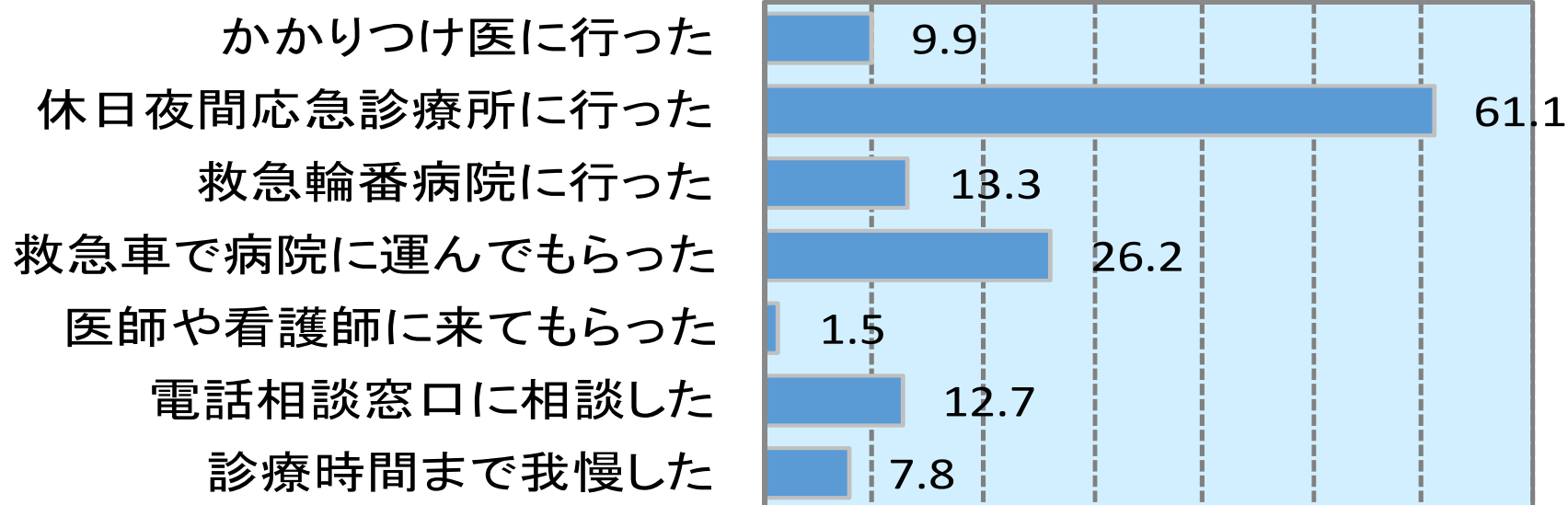
「はい」が31.1%と、3割の方が休日夜間の急病経験をされている。年齢別では、30歳代(45.6%)、40歳代(42.3%)、50歳代(37.9%)と若中年層が多くなっている。

アンケート集計結果

【休日夜間の急病経験に関する調査】

【問12 休日夜間の急病時の対応】

問11で「1：ある」を選んだ方にお聞きします。あなたやあなたの家族が、休日や夜間に急病になったとき、どのように対応しましたか。



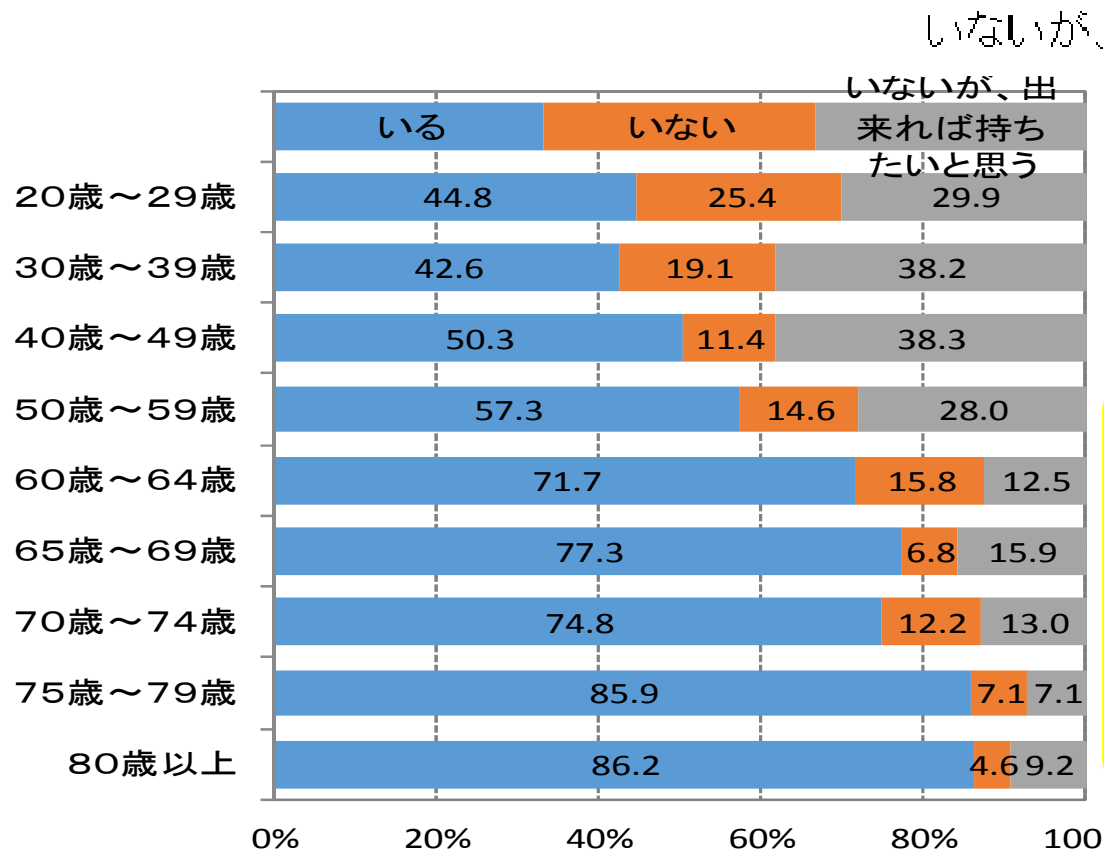
「休日夜間応急診療所に行った」が61.1%と極めて高く、次に、「救急車で病院に運んでもらった」が26.2%と高くなっている。

一方で、問13の「かかりつけ医がいる」の64.1%の多さの割りに、「かかりつけ医に行った」が9.9%と低くなっている。

アンケート集計結果 【かかりつけ医に関する調査】

【問13 かかりつけ医の有無】

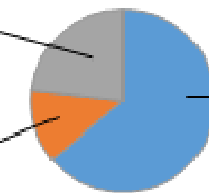
「かかりつけ医」とは、なんでも相談でき、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介してくれる身近な医師のことですが、あなたやあなたの家族には、「かかりつけ医」がいますか。



いないが、出来れば持ちたいと思う

23.1

いない
12.8



いる
64.1

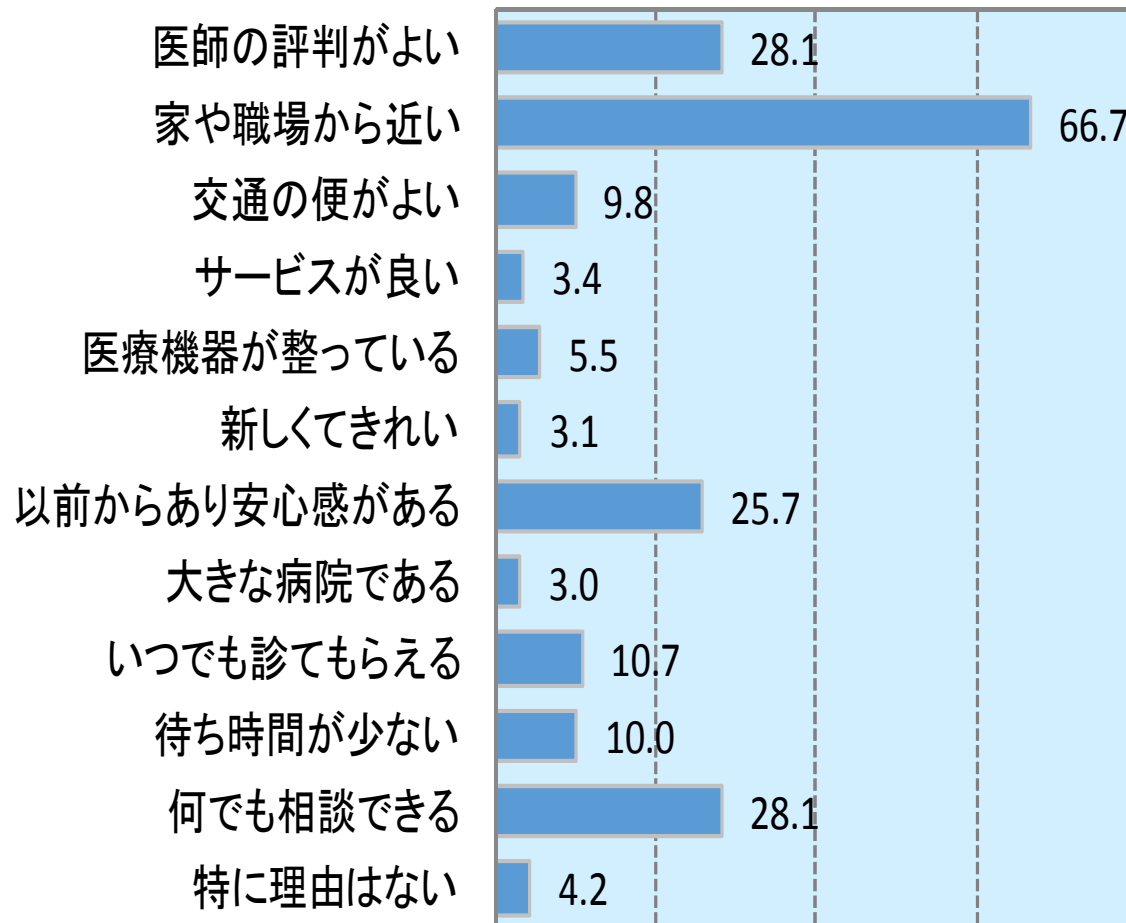
「いる」が**64.1%**と高くなっている。特に、**60歳以上**の方は、**7～8割以上**が「かかりつけ医がいる」と答えている。

また、「いないが、持ちたい」が**23.1%**と、かかりつけ医の必要性を感じている人が多い。

アンケート集計結果 【かかりつけ医に関する調査】

【問14 かかりつけ医の選定理由】

問13で、「1: いる」と回答された方にお聞きします。そのかかりつけ医を選んだ理由は何ですか。(複数回答)



「家や職場から近い」が66.7%と最も高く、立地条件が市民の受療形態を左右する重要な要素といえる。

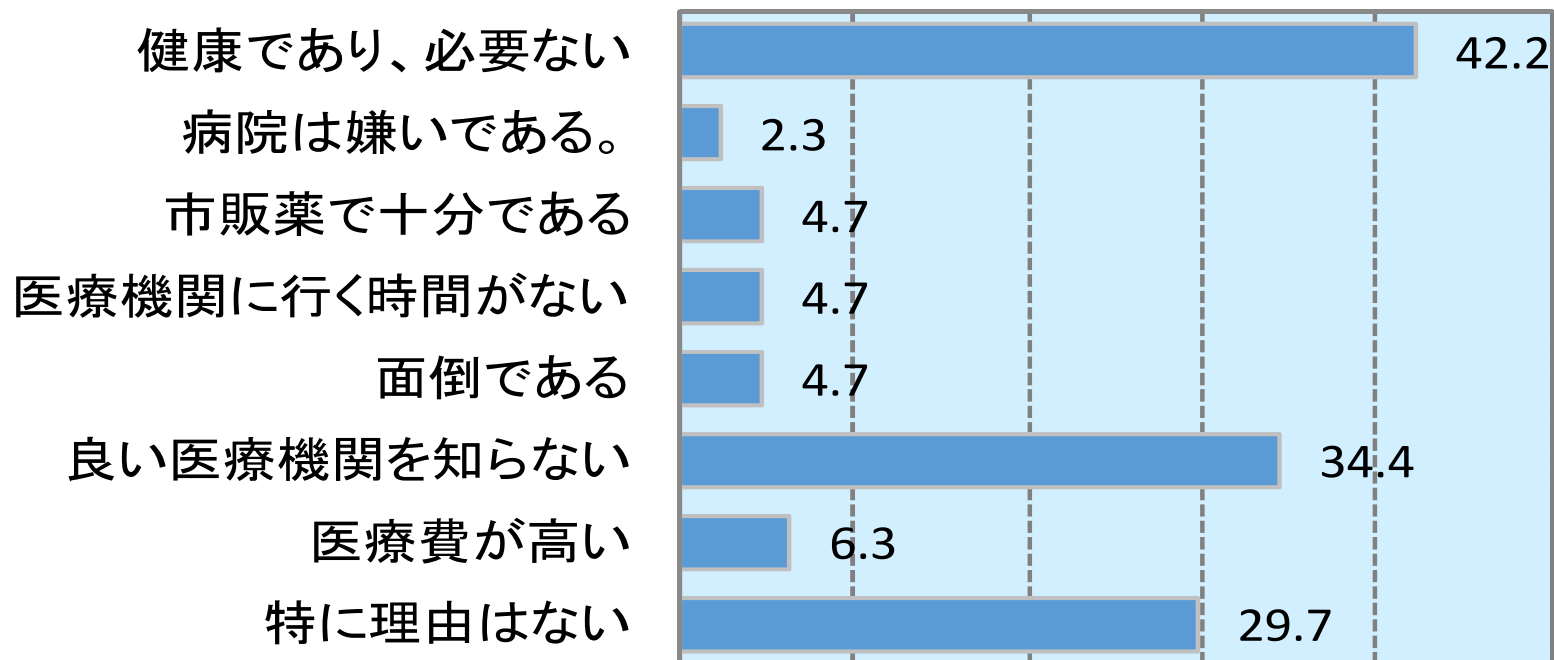
次いで、「医師の評判が良い」「何でも相談できる」「以前からあり安心感がある」がともに25%強となった。

地元を根を張る診療所こそが、地域医療を支える主役にふさわしいと言えるのでは。

アンケート集計結果 【かかりつけ医に関する調査】

【問15 かかりつけ医をもたない理由】

問13で、「2：いない」と回答された方にお聞きします。かかりつけ医がない理由は何ですか。(複数回答)

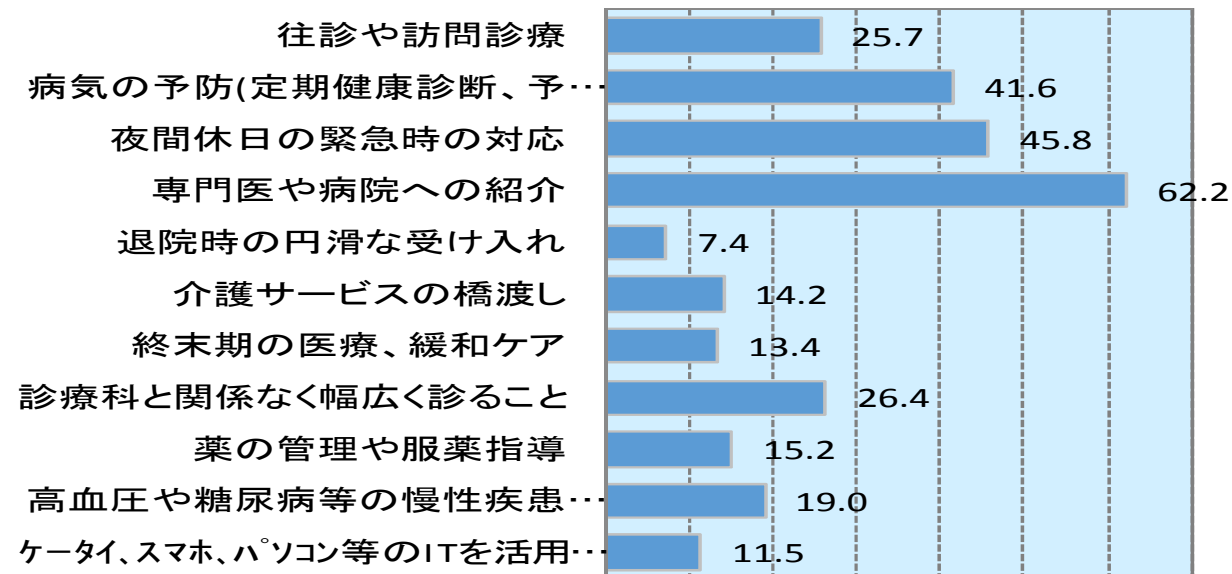


「健康であり、必要ない」の42.2%に次いで、「良い医療機関を知らない」が34.4%を占めた。

アンケート集計結果 【かかりつけ医に関する調査】

【問16 かかりつけ医に望む医療サービス】

あなたやあなたの家族のかかりつけ医に望む医療やサービスは何ですか。(現在受けているものも含む。)(複数回答)



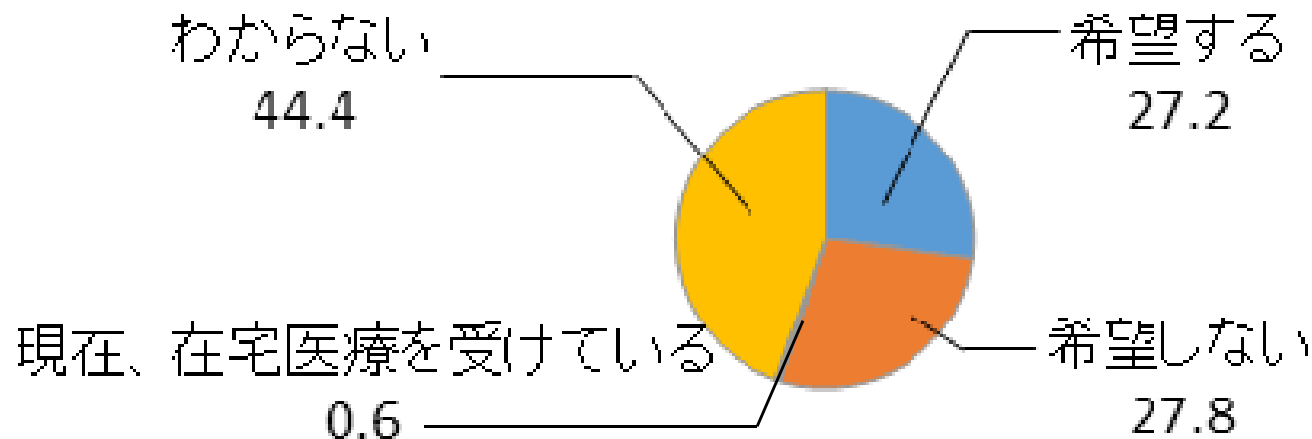
- 1位:「専門医や病院への紹介」(62.2%)
- 2位:「夜間休日の緊急時の対応」(45.8%)
- 3位:「病気の予防」(41.6%)となった。

※医科診療所アンケート問6(1)の「かかりつけ医として提供している医療・サービス」では、「専門医や病院への紹介」と「病気の予防」が1位、2位を占めるが、「夜間休日の緊急時の対応」は、問6(2)の「かかりつけ医として提供できていない医療・サービス」の1位となっている。

アンケート集計結果 【在宅医療に関する調査】

【問17 在宅医療を希望するか否か】

あなたやあなたの家族は、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅での医療を希望しますか。

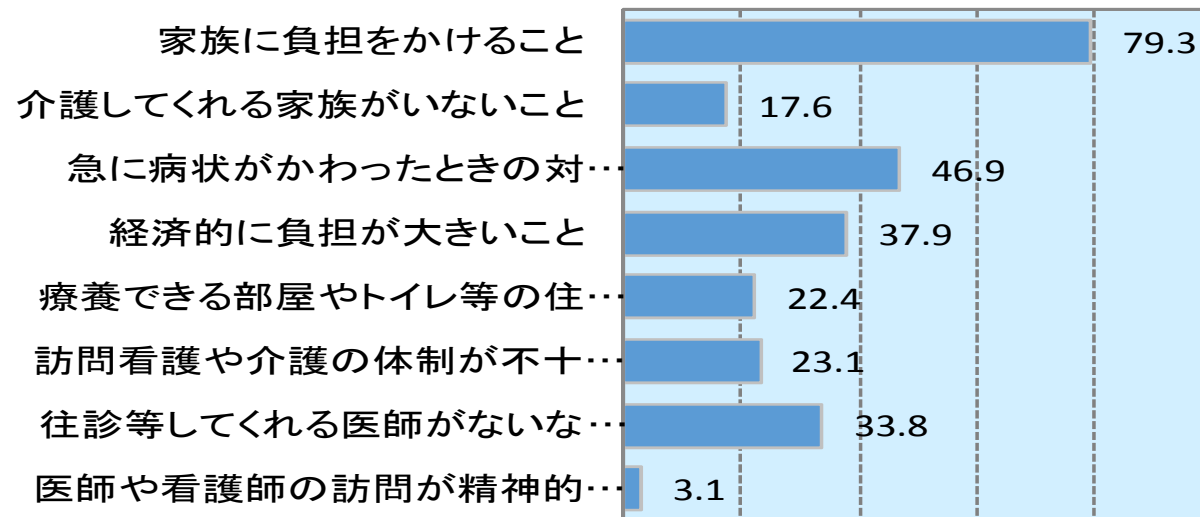


- ・「希望する」が27.2%、「希望しない」が27.8%とほぼ同率で、「わからない」が44.4%となった。
- ・年齢とのクロス集計結果を見ると、全ての世代で「希望する」と「希望しない」の差が余りなかった。
- ・若年・中年層の現役世代では、「わからない」が5～6割を占めた。

アンケート集計結果 【在宅医療に関する調査】

【問18 在宅医療の実現に支障となること】

問17で「1：希望する」と回答された方にお聞きします。在宅での医療を希望するが、その実現に支障となるとと思われることは何ですか。(複数回答)



1位:「家族に負担をかけること」(79.3%)

2位:「急に病状が変わったときの対応の不安」(46.9%)

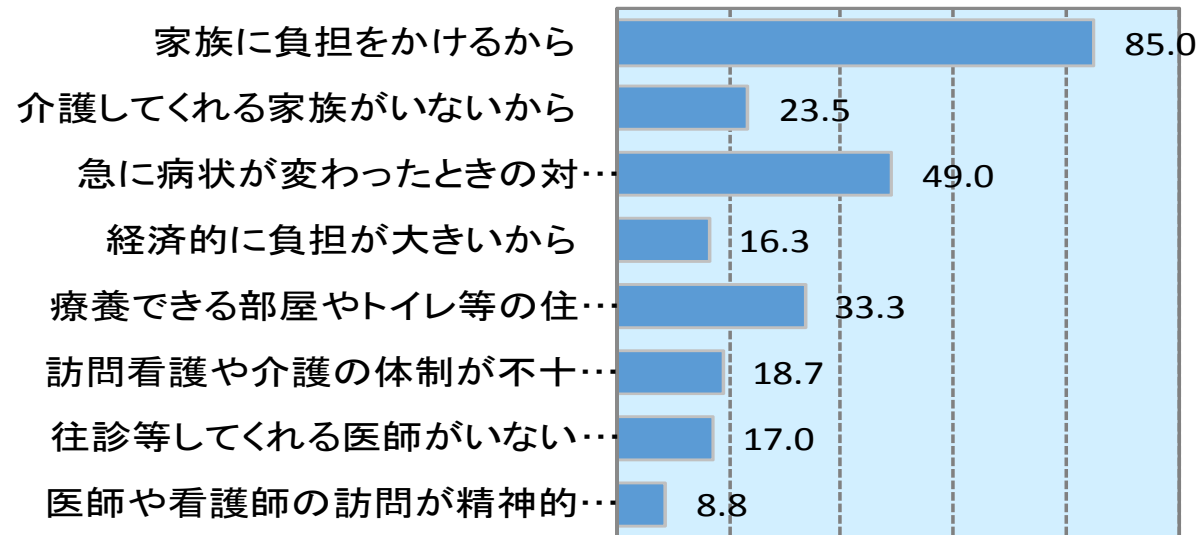
3位:「経済的に負担が大きいこと」(37.9%)

・「希望する」と答えた方でも、家族への負担、急病時の対応、経済的負担など実現に支障となると考えている方が多い。

アンケート集計結果 【在宅医療に関する調査】

【問19 在宅医療を希望しない理由】

問17で「2：希望しない」と回答された方にお聞きします。
在宅での医療を希望しないと思う理由は何ですか。(複数回答)



1位:「家族に負担をかけること」(85.0%)

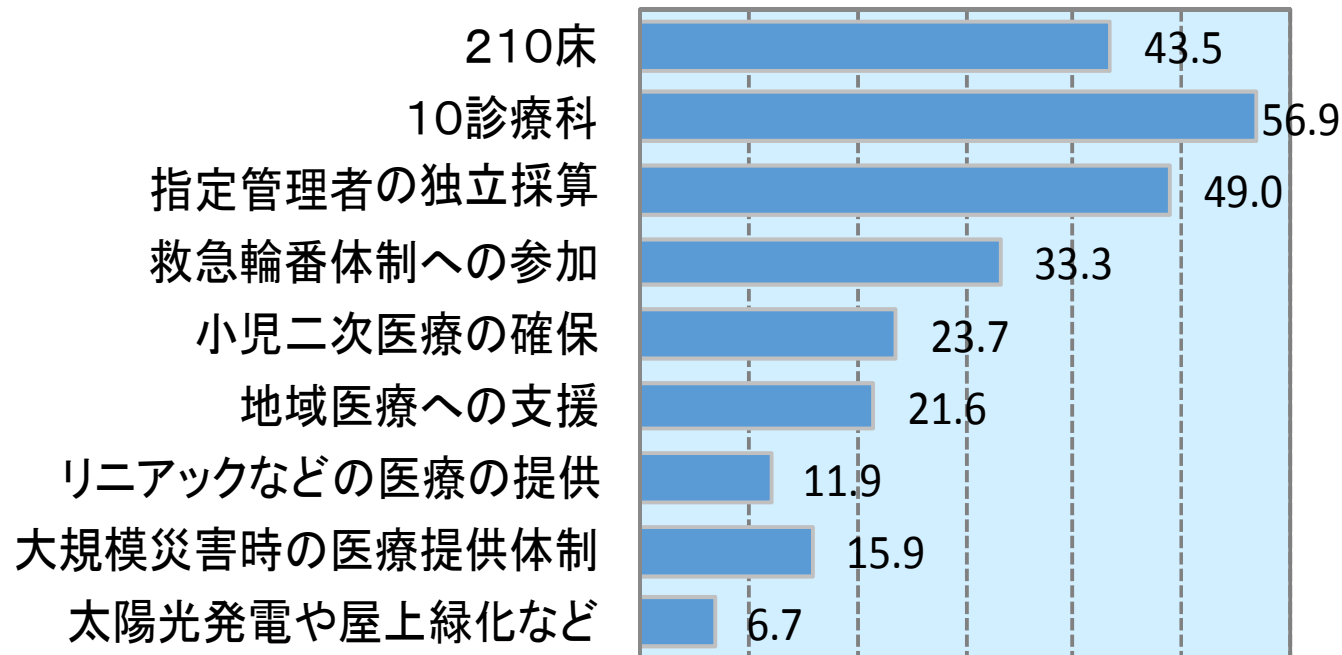
2位:「急に病状が変わったときの対応の不安」(49.0%)

3位:「療養できる部屋やトイレ等の住環境が整っていない」(33.3%)

・「希望する」「希望しない」と答えた方双方とも、家族への負担、急病時の対応の不安が1位、2位を占めた。

アンケート集計結果 【市立病院に関する調査】

【問20 市立病院の取組みについて知っていること(複数回答)】



1位:10診療科

2位:指定管理者の独立採算

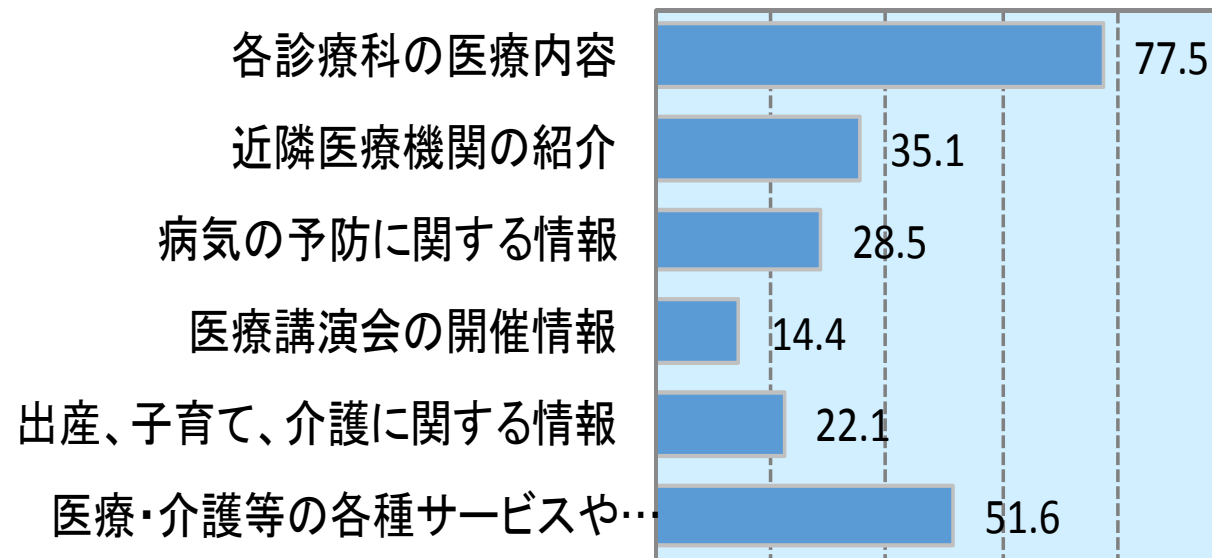
3位:210床

また、不明(未記入)が1,098件中500件あり、きわめて高く、市立病院の取組みについて、市民への周知が不十分であるのではと推測される。

アンケート集計結果 【市立病院に関する調査】

【問21 市立病院に望む情報提供（複数回答）】

市立病院からどのような情報の提供を望みますか。



1位:「各診療科の医療内容」(77.5%)

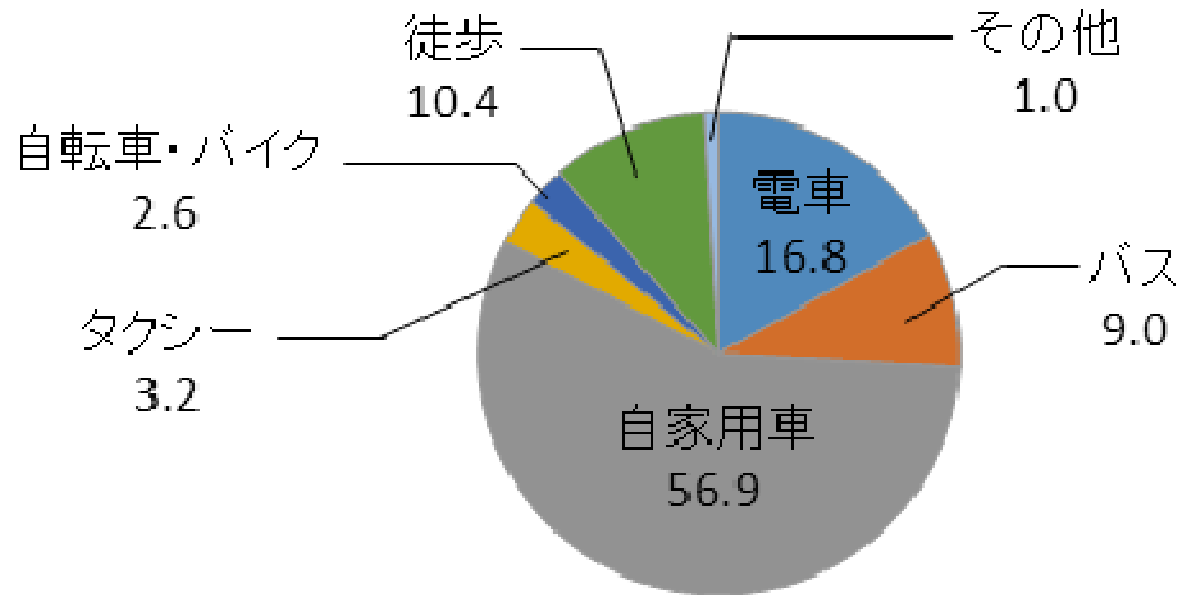
2位:「医療介護等の各種サービスや医療費等の相談窓口など療
養生生活に関する情報」(51.6%)

3位:「近隣医療機関の紹介」(35.1%)

アンケート集計結果 【市立病院に関する調査】

【問22 市立病院利用時の交通手段】

市立病院へはどのような交通手段を主として利用されますか。

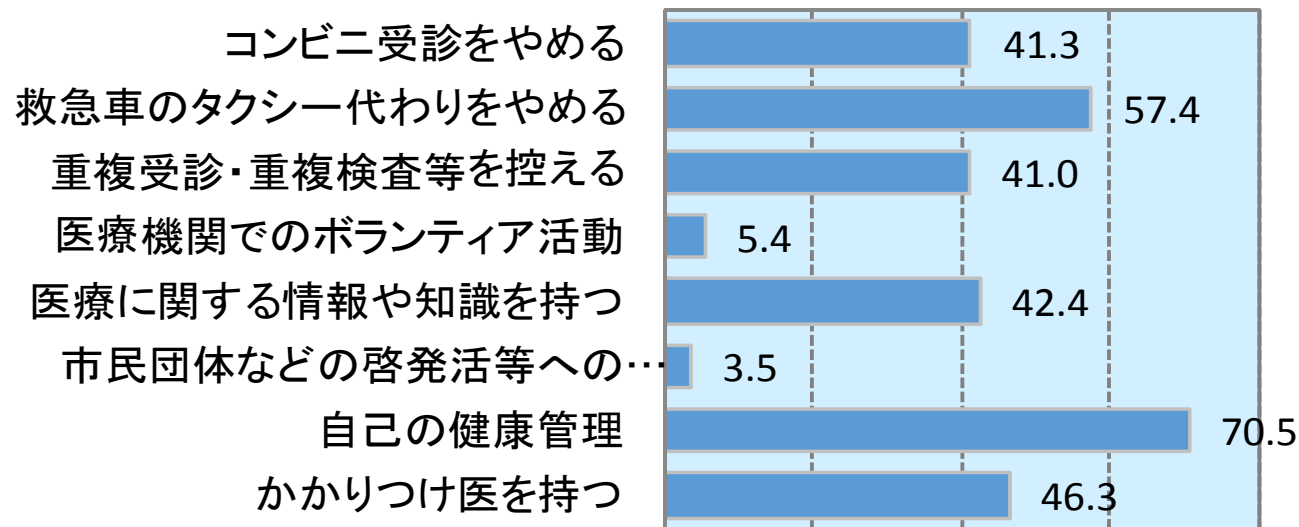


- ・駅前という立地条件にも関わらず、自家用車での利用(56.9%)が極めて高く、居住地とのクロス集計結果では、市の北地区と南地区では、65~75%が自家用車での利用となっている。
- ・開院に向けて、周辺道路等の混雑を避けるため、今後、公共交通機関の利用のPRの強化等の対策を施していく必要がある。

アンケート集計結果 【市立病院に関する調査】

【問23 地域医療を育てるために市民にできること(複数回答)】

本市の地域医療を育てていくために、市民としてできることは何だと思いませんか。



1位:「自己の健康管理」(70.5%)

2位:「救急車のタクシー代わりをやめる」(57.4%)

3位:「かかりつけ医を持つ」(46.3%)

「かかりつけ医を持つ」が上位にきていることから、市民の意識としても「かかりつけ医」の必要性を認識されている方が多いことが推測される。